KLS39 ●The 39th Meeting of the Kansai Linguistic Society

関西言語学会
第39回大会プログラム

2014 年 6 月 14 日（土）・15 日（日）

大阪大学 豊中キャンパス

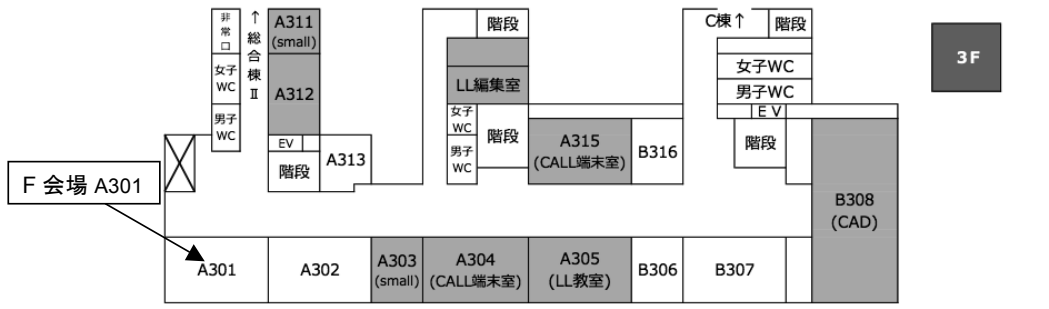
560-0043　大阪府 豊中市 待兼山町1-8

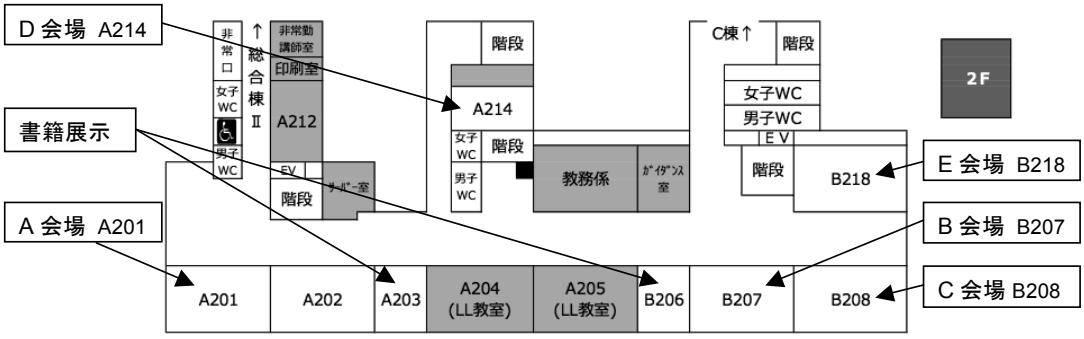
関西言語学会事務局
http://kansailingsoc.sakura.ne.jp/
651-2187 兵庫県神戸市西区学園東町 9-1
神戸市外国語大学

kls39.indd 1 14/05/19 15:29

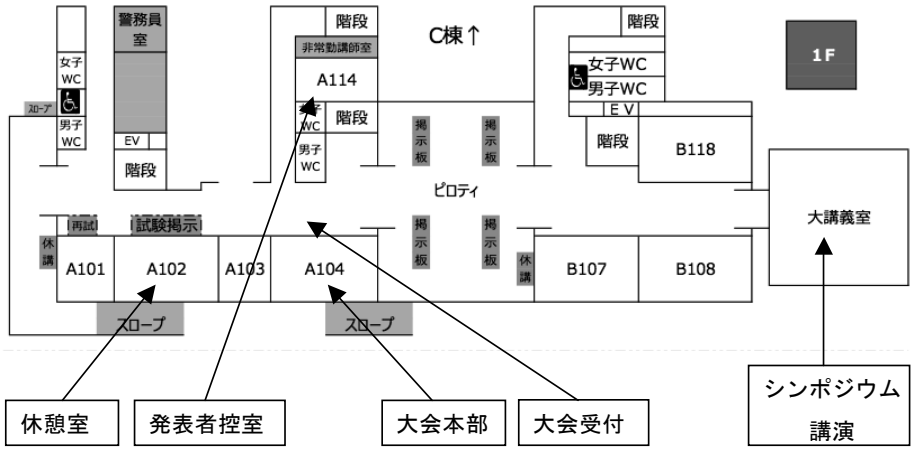
会場案内　大阪大学 豊中キャンパス

全学教育推進機構（共通教育棟）A 棟、B 棟、大講義室





A 棟　　B 棟



スケジュール

6月14日（土）	12:00 -	受付開始	A棟 1階
	13:00 -	開会	1階 大講義室
	13:15 - 14:30	研究発表Ⅰ	A-E会場：A201, B207, B208, A214, B218教室
	14:45 - 17:45	シンポジウム	1階 大講義室
	18:00 - 20:00	懇親会	学生交流棟 食堂「宙（sora）」
6月15日（日）	9:30-	受付開始	A棟 1階
	10:00 - 11:55	研究発表Ⅱ	A-E会場：A201, B207, B208, A214, B218教室
	10:00 - 12:00	ワークショップ	F会場：3階 A301教室
	13:10 - 14:25	研究発表Ⅲ	A-E会場：A201, B207, B208, A214, B218教室
	14:45 - 16:15	招待講演	1階 大講義室
	16:15 -	総会・閉会	1階 大講義室

初日（6月15日）は午後からの開催になります。ご注意ください。

❒ 大会参加について

- 事前に会員登録をお願いします。大会前10日以内に会費納入された方は振替受領書をお持ち下さい。会費納入が確認できない場合，当日会費のお支払いをお願いし，後日確認後，返金いたします。会員登録については学会ウェブサイト（http://kansailingsoc.sakura.ne.jp/）をご覧下さい。
- 会員は参加無料（会員登録も当日行っております）。当日会員は一般 2,000円，学生 1,000円です。
- 受付で会員登録を確認したうえで，名札をお渡しします。会場では名札を着用ください。名札のない方は入場できません。

❒ 懇親会

- 第1日のシンポジウム終了後，キャンパス内の食堂「宙（sora）」で懇親会を開きます。発表者の方も，一般会員の方も，気軽にご参加ください。（会費：一般 4,000 円，学生 3,000 円）

❒ 昼食

- 14 日（土）は，食堂「宙」，生協豊中福利会館 3 階食堂，生協図書館下食堂が通常営業されます。
- 15 日（日）は，学生食堂・生協店舗の営業がありません。昼食をご持参ください。

❒ 喫煙について

- 会場内は禁煙です。喫煙は会場校が指定する場所でお願いします（大会受付にお尋ねください）。

第1日：6月 14日（土）

大会受付開始　［AB棟１階］ 12:00

開会　［AB棟１階 大講義室］. 13:00-13:10

開会の辞　関西言語学会 会長 西光 義弘

研究発表Ⅰ　［AB 棟２階］ 13:15–14:30

A 会場 A201 教室　司会：龍城 正明（同志社大学）

1（13:15-13:50）　That voice sent shivers down her spine：英語の心理的変化を表す使役移動構文における感情の意味的性質　中尾 朋子（大阪大学大学院生）

2（13:55-14:30）　固有名詞の指示的文脈における解釈について　ダフィー 美佐（奈良女子大学非常勤講師）

B 会場 B207 教室　司会：嶋村 誠（関西学院大学）

1（13:15-13:50）　Repetition avoidance: Evidence from Chinese passives　時 若洋（京都大学大学院）

2（13:55-14:30）　量化の副詞と alternative situation　水谷 謙太（大阪大学大学院）

C 会場 B208 教室　司会：西光 義弘（神戸大学名誉教授）

1（13:15-13:50）　モンゴル語の出来事存在文について：日本語の出来事存在文との対照　伶 艶（岡山大学大学院生）

2（13:55-14:30）　現代ウイグル語における分詞とその主語の出現に関する一考察　新田 志穂（岡山大学大学院生）

D 会場 A214 教室　司会：松本 曜（神戸大学）

1（13:15-13:50）　イロカノ語バギオ方言の移動表現における経路情報の実現　山本 恭裕（大阪大学大学院）

2（13:55-14:30）　接頭辞の処理は困難か？：「類型論的少数派」からの考察　淺尾 仁彦（ニューヨーク州立大学大学院生）

E 会場 B218 教室　司会：鍋島 弘治朗（関西大学）

1（13:15-13:50）　液体の放出を表す動詞のメタファー的使用とその制約：＜感情は液体＞日本語メタファー表現のコーパス調査と分析　後藤 秀貴（大阪大学大学院生）

2 (13:55-14:30)　共感覚表現と「五感」の問題 について：触覚の身体性

大谷 友也（大阪大学大学院生）

シンポジウム［AB 棟 1 階 大講義室］ 14:45–17:45

言語理論と科学哲学

司会：藤田 耕司（京都大学）

生成文法・生物言語学の方法論　藤田 耕司（京都大学）

認知文法の言語観と方法論　西村 義樹（東京大学）

言語科学方法論に科学哲学はどんな寄与ができるか　戸田山 和久（名古屋大学）

懇親会　［学生交流棟 食堂「宙」］ 18:00–20:00

（会費一般 4,000 円，学生 3,000 円）

第2日：6月 15日（日）

研究発表Ⅱ 10:00–11:55

A 会場 A201 教室

司会：田村 幸誠（大阪大学）

3 (10:00-10:35)　語レベルのスケール構造と句レベルのスケール構造

木山 直毅（大阪大学大学院生）

4 (10:40-11:15)　フランス語の断定を表す関係節中の文体的倒置の機能について

谷口 永里子（京都大学大学院生）

5 (11:20-11:55)　標準アラビア語における一致の非対称　小林 亜希子（島根大学）

B 会場 B207 教室

司会：有村 兼彬（甲南大学）

3 (10:00-10:35)　A case of the embedded main clause properties in Japanese

山口 麻衣子（大阪大学大学院生）

4 (10:40-11:15)　On depictives: Where they adjoin　山口 真史（大阪大学大学院生）

5 (11:20-11:55)　「する」と「できる」の具現に対する感循環異形態分析　田川 拓海（筑波大学）

C 会場 B208 教室

司会：谷口 一美（京都大学）

3 (10:00–10:35)　マレーシア語のパーティクル *kan* の多機能性：文法化の観点から
勝田順子（名古屋大学大学院生）・堀江薫（名古屋大学）

4 (10:40–11:15)　「来る」の文法化について：「V（て）来る」のアスペクト用法
日高俊夫（九州国際大学）

5 (11:20–11:55)　文法変化の方向と文法的意味の記述［招聘発表］　小柳 智一（聖心女子大学）

D 会場 A214 教室　司会：吉村 公宏（奈良教育大学）

3 (10:00–10:35)　日本語における「外の視点」基盤の時間表現　大神 雄一郎（大阪大学大学院生）

4 (10:40–11:15)　アイロニー発話に伴う乖離的態度に関する一考察
盛田 有貴（奈良女子大学大学院生）

5 (11:20–11:55)　中国語の新型受身文について：認知言語学的アプローチ
王 暁星（広島大学大学院生）

E 会場 B218 教室　司会：金水 敏（大阪大学）

3 (10:00–10:35)　日本と中国の文献資料における「不審」の意味変容：中世までの文献資料を中心に文法的機能との関わりから　張 潔（京都大学大学院生）

4 (10:40–11:15)　大学講義の文末表現［招聘発表］　石黒 圭（一橋大学）

5 (11:20–11:55)　新情報受容形式「そうなんですね」の使用に関する一考察：許容度を左右する要因
市村 葉子（名古屋大学大学院生）・ 勝田 順子（名古屋大学大学院生）

ワークショップ ［F 会場 3 階 A301 教室］ 10:00–12:00

重複は「語」を超えるか？：重複と反復に関する通言語的視点

代表者：倉部 慶太（日本学術振興会特別研究員）
伊藤 雄馬 （日本学術振興会特別研究員）
齋藤 有哉 （京都大学大学院生）
仲尾 周一郎（日本学術振興会特別研究員）

研究発表Ⅲ 13:10–14:25

A 会場 A201 教室　司会：田中 真一（神戸大学）

6 (13:10–13:45)　韓国人日本語学習者の日本語破裂音・破擦音・摩擦音における音声的な長さコントロールについて：文字の読み上げと遅延反復手法（delayed repetition technique）による生成調査の比較　曺 秀弦（名古屋大学大学院生）

7 (13:50–14:25)　On the development of final [r] in British English
西原哲雄（宮城教育大学）・ヤールン・バンデ・バイヤー（上海外国語大学）

B 会場 B207 教室 司会：藤田 耕司（京都大学）

6 (13:10–13:45) 語彙的複合動詞の獲得：CHILDES を使用した実証研究
木戸 康人（神戸大学大学院生）

7 (13:50–14:25) 日本語の「させる」構文と中国語の"让"構文の対照研究：
習得研究のための分類の試み 胡 君平（大阪府立大学大学院生）

C 会場 B208 教室 司会：有田 節子（大阪樟蔭女子大学）

6 (13:10–13:45) 日本語における動詞句イディオムと複合動詞
長谷部 郁子（筑波大学非常勤講師）

7 (13:50–14:25) 「からの」の単独用法について［招聘発表］ 今野弘章（奈良女子大学）

D 会場 A214 教室 司会：佐野 まさき（立命館大学）

6 (13:10–13:45) 「第２与格」対「第２主格」：デフォルト格としての与格／主格
中村 渉（東北大学）

7 (13:50–14:25) 前項述語の原因役割と結果構文の使役主役割の融合制約：
中国語の結果構文を例に 楊 明（関西学院大学）

E 会場 B218 教室 菊田 千春（同志社大学）

6 (13:10–13:45) 本動詞「スル」の他動性：「指輪をはめる／指輪をする」の述語交替に着目して
古澤 純（京都外国語大学大学院生）

7 (13:50–14:25) ニ受身文の適格性条件再考：なぜその論文はチョムスキーに引用されたのか？
鈴木 武生（跡見女子学園大学・早稲田大学非常勤講師）

招待講演 ［1 階 大講義室］ 14:45–16:15

司会：西光 義弘（神戸大学名誉教授）

言語と社会的知性 松井 智子（東京学芸大学）

総会［1階 大講義室］ 16:15

閉会の辞［1階 大講義室］ 16:30

関西言語学会 副会長 龍城 正明

大阪大学 豊中キャンパス へのアクセス

○阪急電車宝塚線

石橋駅（特急・急行停車）下車　東へ徒歩　　全学教育推進機構まで約１５分

○大阪モノ レール

柴原駅下車　徒歩約７～１５分

大会実行委員	林 博司(委員長)	有田 節子	有村 兼彬	大庭 幸男	川越 いつえ
	菊田 千春	金水 敏	定延 利之	佐野 まさき	嶋村 誠
	龍城 正明	田中真一	谷口 一美	鄭 聖汝	鍋島 弘治朗
	西光 義弘	藤田 耕司	益岡 隆志	松本 曜	山梨 正明
	吉村 公宏				
開催校委員	三原健一	早瀬尚子	越智正男	田村幸誠	秋田喜美
事務局	山口 治彦	本多 啓	那須 紀夫	三間英樹	